

復興、その先へ。

未来へつながる三陸

「より良い復興～4本の柱～」を軸として、着実に復興に取り組む三陸。復興の今に触れ、「その先」へ進む三陸を三陸鉄道で訪れてみませんか。



4本の柱

安全の確保

暮らしの再建

なりわいの再生

未来のための伝承・発信

三陸鉄道(陸前赤崎駅～盛駅間)



震災を今に伝える
地域の交流拠点

海流がぶつかり多くの魚が集まる場所のように、人々との交流が生まれることを願う名付けられた「潮目」。ここでは、震災を伝える掲示物として、当時の津波の写真やがれきの中から拾い集めた時計などが展示されています。

伝承施設としての役割を果たす一方、みちのく潮風トレイルの中間付近に位置する潮目は、国内外のハイカーが集い地元の人との交流の場所にもなっています。

◎震災伝承施設 潮目
090-8780-5509

学ぶ 震災伝承施設 潮目

「三陸駅」から徒歩1分



▲三陸駅のすぐ近くにあるカラフルな建物



▲震災を語り継ぐ掲示板



気軽に
ご利用
ください
館長の
片山
和一良さん

立ち寄る

千石船 気仙丸

「盛駅」からタクシーで6分



◀ガイド付き船上見学の様子



▲東日本大震災津波にも耐え、ほぼ無傷で残った奇跡の船「気仙丸」の雄姿



解説しながら
船内をご案内
します

◀ガイドの
今野顕彦さん



大型木造和船を復元
気仙丸の技を今に伝える

大船渡市中心部に陸上展示されている「千石船 気仙丸」は、1992年に開催された「三陸・海の博覧会」に出展するため、気仙船匠会によって建造復元された大型の木造和船です。NHK大河ドラマのロケにも使用されました。これだけ大きな木造和船は全国でも珍しく、気仙丸の技を今に伝える地域の宝です。4月中旬から12月中旬はガイド付きで見学可能で、電話予約が必要です。

◎大船渡商工会議所
0192-261-2141

世界が注目する

みちのく潮風トレイルを歩こう!

平田駅⇄唐丹駅のビューポイントをご紹介します

青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸をつなぐロングトレイル。雄大な景色が魅力的な復興の道として2024年2月にイギリスのタイムズ紙「日本で訪れるべき場所14選」にも取り上げられました。



測量の碑・星座石

伊能忠敬がこの地に至り北緯39度12分と測量したことを顕彰し、1814年に唐丹の天文学者・葛西昌丕によって建立された碑。北緯の度数を中心に星座名を配列し、石に刻んだ「星座石」も残しました。

写真提供/釜石市郷土資料館



本郷の桜並木

1933年の昭和三陸地震津波で被害を受けた旧唐丹村の復興を願い、唐丹地区に2800本の桜が植樹されました。本郷の桜並木は、その一番の見どころとして今も親しまれています。

環境省
みちのく潮風
トレイル
公式サイト

